

第73回西日本生理学会

日 時：令和4年10月28日（金）・29日（土）

場 所：長崎大学医学部記念講堂

当番幹事：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 井上 剛，篠原一之，中村 渉

参加者：56名

演題数：27題

第73回西日本生理学会は、長崎大学を当番校とし、令和4年10月28・29日の両日において、長崎大学医学部記念講堂にて開催された。令和4年に入り、多くの学会が現地開催となり、本年は3年ぶりに現地開催とした。56名の参加登録と、27題の演題登録（うち九州奨励賞審査対象2題、学部学生演題2題）があり、すべて口演にて1会場で行った。

学会1日目の冒頭では、37歳以下の若手研究者や学生を対象とした「日本生理学会九州奨励賞」の審査セッションを行った。今井猛教授（九州大学）を委員長とする5名の審査委員の厳正なる審査の結果、呉家賢氏（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科内臓機能生理学）の「Activation of cholinergic anti-inflammatory pathway attenuates monocyte-endothelial adhesion through FUT7 inhibition」が受賞となった。その後、一般演題15題の発表があり、活発な質疑応答が行われた。当初は、初日終了後に、会場近く（寶来軒）で懇親会を予定していたが、コロナ感染の状況を鑑み、開催の約2ヶ月前の8月30日に懇親会の開催は中止とした。その代わりに、学会場を学会初日終了後に1時間程度開放し、懇親を深めることができた。

2日目朝に評議員会を行い、評議員会の終了後に学会を再開し、冒頭に学部学生演題セッションを行った。続けて一般演題4演題の発表があり、休憩時間に写真撮影を行った。その後、一般演題4題の発表があり、引き続き活発な議論が行われた。全演題終了後、総会を開催し、井上から第73回西日本生理学会経過報告および評議員会での決定事項の報告、富澤一仁教授（熊本大学）から日本生理学会理事会報告、次回西日本生理学会に関して福岡歯科大学藤田亜美教授からの報告、産業医科大学丸山崇先生から第101回日本生理学会大会に関する進捗状況に関して報告があった。総会后、奨励賞の授賞式を行い、2日目の正午に全プログラムが終了した。

開催に際して、準備の事務作業は中畑泰和氏、高須奈々氏、小森陽子氏、山本良子氏にお手伝いいただいた。学会参加者の皆様、評議員会報告・座長・審査委員を引き受けて下さった皆様、ならびに運営に携わった皆様に厚くお礼を申し上げたい。以上、本学会の最終報告とする。

地方会抄録はウェブページ <http://physiology.jp/nisseishi/> に掲載させていただくことになりました。（Pt 2）p. 1～p. 9 をご覧ください。